

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調とし、「生きる力」の理念を重視して、生涯を通して知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成を目指す。  
ふれあう 学ぶ 元気な子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○ 児童、保護者、地域から信頼される学校 ○ 組織力の高い学校
○児童・生徒像	○ 「ふれあう」・自ら進んで気持ちのよい挨拶をする児童 ・自尊感情を高め、思いやりの心もち互いを認め合い高め合う児童 ・自他の生命を尊重し、規範意識や社会性を高め、互いの人権を尊重して豊かな人間関係を育む児童 ○ 「学ぶ」 ・学習の基礎・基本、学習習慣を確実に身に付けた児童 ・問題解決力を身に付け、自ら考え表現する児童 ・言語力を身に付けた児童 ○ 「元気な子」・手洗い、うがいを徹底し、3密を避け、規則正しい生活をする中で自らの健康に気を付ける児童 ・自ら運動習慣を身に付け、体力向上をめざす児童 ・安全や防災についての知識や態度を身に付けた児童
○教師像	○ 児童一人一人を大切する教師                                   ○ 授業力を高める教師 ○ 組織として動く教師   ○ 教育への熱意、使命感をもった教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

1 学校の現状

【学校】感染症予防対策下において、各教職員が組織として動き、最大限に工夫をして協力して学校運営にあたっている。  
【児童】素直で明るい児童が多い。思いやりの心も育ってきている。今後も、自らの考えや思いを表現する力を一層伸ばし、心身の逞しさを育成していく。  
【教師】何事にも意欲的で、生き生きと職務を遂行している。個々の教師のよさを最大限に活かし、児童一人一人を大切に、一層の指導力向上を図って行く。  
【保護者・地域】各家庭の学校に対する関心・期待が非常に高い。今後も、PTA、開かれた学校づくり協議会、地域との連携を一層推進して行く。

2 前年度の成果と課題

【成果】  
・学習指導では、個に応じた指導の推進により成果が表れている。さらに、研究授業を通じた授業改善、若手教員の育成が継続して積極的に行われている。  
・運動会、学習発表会、各種校外学習や出前教室等の多様な実践により、昨年度以上に児童の活動意欲や達成感、充実感を高めることができた。  
・なかよし班活動は通年で2学年ごとに実施し、4、5、6年生のリーダーシップが育成された。クラブ活動の内容は、児童の発起人が考え賛同したメンバーにより提案され児童の創意がある自主的な活動になっている。また、各委員会も代表委員会を中心に工夫した活動を実践し、主体性に高まりが見られた。  
・年間を通じた安全指導・挨拶指導等の成果が表れた。児童の挨拶は昨年度比でよくなっている。特に例年より、5、6年生の挨拶がよい傾向にある。  
・体力向上に向け、朝の体力づくりの時間や体育朝会の工夫、運動会に向けた練習を始めとして、6年生連合運動会や区陸上大会・区ミニバスケットボール大会等へ向けた朝練習・夕練習の成果は大きい。水泳指導も予定通りでき、プロ縄跳びプレイヤーを招聘した全学年の縄跳び教室により縄跳び練習が盛んになった。  
・避難訓練の内容を変更して児童が密になることを避けて、毎月の避難訓練を確実に実施した。SNSに関する指導も昨年度以上に重視して実施した。  
・PTA、開かれた学校づくり協議会との連携によって挨拶運動や環境整備等ができ、放課後子ども教室もスタッフの尽力で児童が意欲的に参加していた。

【課題】  
・学力向上委員会、特別支援委員会、生活指導夕会、さらに必要に応じて臨時職員打ち合わせ会を行うことで、個々の児童の課題について情報の共有化を図り、課題解決に向けて組織的に迅速に取り組むことができた。今後も、学習面・生活面で個の実態に応じた具体的な指導の徹底を継続して重視していく。

- ・GIGAスクール構想の実現を目指し、今年度に引き続き、タブレット端末等のICT機器を積極的に活用した学習活動の工夫を図る必要がある。
- ・挨拶指導の継続で挨拶ができるようになったが、天候等による差も大きい。今後も自ら気持ちのよい挨拶ができるように指導を継続していく。さらに、体験的活動の工夫した実践等によって、規範意識や思いやりの心の育成を図って行く。
- ・感染症予防対策をとった上で、体力の向上の具体策を継続していく。また、生活ふり返り週間の継続実施によって、保護者と協力して基本的な生活習慣の定着を図っていく。特に、早寝が課題である。
- ・PTAや地域との連携を一層推進していく。そして、安全教育、情報モラル教育、防災・減災教育のさらなる充実を図る。

#### 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	個の尊重と豊かな人間関係の育成	○	○	○		
3	体力向上と健康・安全の推進	○	○	○		

#### 5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題			達成度 ◎○△●		
児童学習アンケート調査6、12月 (4段階B以上) 楽しい、分かった・できた；85%以上		学力確認調査通過率 ・2月今年度内容；80%以上	・4月区学力調査通過率 国語93.2%算数93.1% ・2月学力調査通過率 国語87.1%算数87.1%	区学力調査は達成基準を上回った。6年全国調査正答率も全国・都平均を上回っている。今後も思考・判断・表現力を高める学習を進める。			○		
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	個に応じた指導の充実 (1) ジャンプタイム(国語)	全児童 国語	週 1時間	【指導体制】 担任 【取り組みのねらい・目的】 国語の「読み解く力」「書く力」「漢字」向上。 【使用教材】国語読解問題 100マス作文 AIドリル	児童学習アンケート(国語)  国語単元テスト	12月、6月比 向上。  後期、前期比 向上	学習アンケート 【国語】 ・楽しい 83.3% ・わかる・できる 90.7%	「楽しいと思わなかった」3.6% 「分かたりできたりしなかった」0.5% 学ぶ意欲の向上に課題	○

2 継続	個に応じた指導の充実 (2) チャレンジ タイム	全児童 算数 (国語)	週1回 朝15 分間	【指導体制】担任 【取り組みのねらい・目的】 基礎・基本の定着。 【使用教材】100マス計算、 課題詩 AIドリル	児童学習アン ケート(算数) 算数単元テス ト	12月、6月比 向上。 後期、前期比向 上。	学習アンケート 【算数】 ・楽しい89.1% ・わかる・できる 93.8%	「楽しいと思わなか った」10.6% 「分かったりできたり しなかった」6. 2% 学ぶ意欲の向上に課 題	○
3 継続	個に応じた指導の充実 (3) 放課後補充 教室	国語 算数 (単元テ スト正答 70%~ 80%)	週1~ 2回 放課後 30分 間程度	【指導体制】 担任・専科・学習支援員 【取り組みのねらい・目的】 つまずきの個別指導。 【使用教材】AIドリル、 東京ベーシックドリル等	2月調査  東京ベーシッ クドリル  A診断 B診断	2月；通過率 80%以上。  12月診断 9月比向上。	・2月定着調査通過 率；国語87.1% 算数87.1% ・東京ベーシック ドリル平均正答率 A問題； % B問題； %	・個別の課題把握と共 有の体制を構築する。 ・指導時間の確保のた めの時程の改善。 ・一人一人に寄り添っ てともに学ぶ体制を 構築する。	○
4 継続	主体的・対 話的で深い 学びの実現 (1) 言語力育成	全児童 全教科等	年間	【取り組みのねらい・目的・ 内容】話す・聞く、書く、 読む力の向上。・話型指導 ・作文・発表・課題詩音読 ・タブレット端末の活用 ・新聞活用4、5、6年 ・調べ学習(学校図書館等) ・朝読書週1回以上、読書年 間目標達成率70%以上	教員自己評価 (年1回) 読書年間目標 達成率確認 (カード活 用) 学級別図書貸 出利用率調査 (年3回)	読書年間目標達 成率。 (低100冊 中4000p 高6000p) 学級別図書貸出 利用率 (80%以上)	・朝読書週1回実施。 ・課題詩(月1篇)は 各学級で音読。	学校評価「本に興味」 56.7% 次年度学校図書館支 援事業と関連付けて 計画的に進める。	△
5 継続	主体的・対 話的で深い 学びの実現 (2) 授業改善 授業力向上 (ICT活 用力向上)	全教員 全教科等	年間	【取り組みのねらい・目的・ 内容】問題解決的な学習の 定着。思考力・判断力・表 現力向上。ICTの活用。 ・小中連携研究授業(4教科) ・若手教員授業観察(15回) ・若手教員研修会(10回) ・授業観察(各教員年3回)	授業観察後の 指導(年3回)  教員自己評価 (年1回)  児童学習アン ケート(2回) 6月、12月	教員自己評価 4段階B以上 85%以上。 児童学習アンケ ート4段階B以 上「楽しい」「分 かる・できる」 80%以上。	・授業観察；年2回 ・教員自己評価「授業 改善等」96% ・若手研修会；10回 ・若手授業研；20回 ・校内研究授業；4回 ・小中連携研究授業； 4回(国語、理科、図 工、外国語)	教員自己評価 96.3% 児童学習アンケート 「楽しい」84% 「分かる・できる」 89%	○

重点的な取組事項－２		個の尊重と豊かな人間関係の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
道徳教育の充実		児童自己評価 教員自己評価 関係者評価 各4段階B以上 80%以上	児童自己評価（年2回） 教員自己評価（年1回） 関係者評価（年1回）	計画通り実施 他教科との関連等内容 について課題	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
挨拶、正しい言葉遣いや返事、後始末の励行	*児童生活アンケート 挨拶・正しい言葉遣い 後始末 (4段階B以上85%以上)	・生活指導目標の具体的指導 (看護当番、生活指導主任、担任等の連携) ・児童生活アンケート結果の活用	児童生活アンケートB以上 挨拶94.1%	学校評価「挨拶、規範意識、思いやり」B以上 91.9% 今後も継続指導。A評価を伸ばす。	○
道徳の時間の改善	*道徳授業改善 ・道徳授業地区公開講座 (1月)全学級授業、講演会・協議会(外部講師招聘) ・道徳授業研修会(年2回) ・授業観察での事後指導	・「考え・議論する道徳」を目指した発問、展開の工夫 ・「生命尊重」「親切、思いやり」「友情、信頼」の重視 ・全教職員同じスタンスでの道徳教育実践	道徳授業地区公開講座1月実施；各学年および道徳部で事前に指導案を作成・検討。	・道徳教育推進教師をリーダーとした組織改善が課題である。 ・地区公開講座の活性化を図る。	△
自尊感情、規範意識、思いやりの心の育成	*新型コロナウイルス感染症関連から偏見や差別に関する人権教育の重視 *児童生活アンケート 「良好な友だち関係」4段階B以上90%以上 ・なかよし班、児童会、委員会、クラブ活動、キャリア教育、環境教育、人権教育、オリ・パラ教育、金管バンド活動の工夫	・特別活動の柔軟な活動計画 ・各種出前教室 ・千八まつり(7月) ・展覧会(11月) ・職業体験学習(5年) ・なかよし遠足(3,4年) ・自然宿泊教室(5,6年) ・なかよし班活動 ・幼保・小中交流活動の工夫 ・「夢デザインシート」の活用 ・キッズ、開かれた学校づくり協議会、保護者等との連携の工夫	・児童生活アンケートB以上 2月(6月比) % ・千八まつり(全学年、7月) ・環境学習出前講座 (4,5,6年、9・11・12月) ・展覧会(全学年、12月) ・なかよし遠足(3,4年、12月) ・自然教室(5年6年) ・国際理解教室(3,4,5,6年、9月～12月) ・生活科見学(1,2年、12月) ・なかよし班活動(2学年ペア) ・子ども未来成人式(4年、2月) ・キッズ、学年PTA等との連携	特別活動、学校行事等における児童のめあての明確化と振り返りによる改善を今後も推進して取り組む。目標達成のための指導の手立てについて、相互に学び合う。	○

個に応じた指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>*ふれあい月間の取組</li> <li>*児童生活アンケート(2回)(6, 12月)</li> <li>・不登校対応マニュアル活用</li> <li>・足立区・自校「いじめ防止基本方針」の徹底</li> <li>・SOS出し方指導充実</li> <li>・「SNS学校ルール」に基づく情報モラル教育の充実</li> <li>・SC、SSW、心理士、関係諸機関等との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育資料の活用</li> <li>・組織的支援と指導</li> <li>・WEBQ U結果の活用</li> <li>・生活指導だより(月1回)</li> <li>・特別支援委員・いじめ防止対策委員会(月1回)</li> <li>・いじめアンケート(年3回)</li> <li>いじめ防止月間取組活性化</li> <li>・生活指導夕会(月2回)</li> <li>・生活指導研修会(年1回)</li> <li>・いじめ防止研修会(年3回)</li> <li>・校内人権研修会(年2回)</li> <li>・個人面談・希望個人面談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生活アンケート;年2回</li> <li>・いじめアンケート;年3回</li> <li>・WEBQ U調査年;2回</li> <li>・特別支援委員会・いじめ防止委員会(月1回)(SC、SSW参加)</li> <li>・情報モラル教育</li> <li>・生活指導夕会(隔週)、いじめ防止研修会3回、人権研修会2回</li> <li>・保護者対象個人面談2回</li> </ul>	今後、定期的な委員会、研修の内容等を精選し、それとともに、個別のケース会議を迅速かつ柔軟に開催して具体的な指導や対応の手立てを共有する。	○
--------------	--	---	--	--	---

重点的な取組事項－3 体力向上と健康・安全の推進					
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
心身ともに健康な児童の育成 児童の安全意識の向上	教員自己評価体力向上 4段階B以上80%以上 生活ふり回りアンケート 早寝・早起き・朝ご飯 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員自己評価体力向上(年1回) 6項目平均B以上 %</li> <li>・生活ふり回りアンケート(年3回平均) 早寝60%・早起き77%、朝ごはん97%、歯磨き84%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早寝、早起きに課題。特に、低学年の課題が大きく、9時までに就寝できない児童が6割。</li> </ul>	○	
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力向上のための取組の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>*基礎体力、柔軟性、瞬発力、走力、投力等を高める運動の工夫</li> <li>・休み時間の運動量確保</li> <li>・朝の「体力つくりの時間」、体育朝会での運動量確保、運動会へ向けた計画的指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育「めあて学習」の推進</li> <li>・「体力6年間のあゆみ」活用</li> <li>・休み時間の場の設定の工夫</li> <li>体力つくりの時間の設定の工夫、運動会の在り方・練習方法の工夫、「オリ・パラ2020レガシー」としてのスポーツ教室等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体力の6年間のあゆみ」を継続。</li> <li>・休み時間の運動量確保。朝の体力づくりの時間を学年別実施。</li> <li>・運動会(6月)</li> <li>・大縄チャレンジ(全学年、1月)</li> <li>・持久走大会(全学年、12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会等のリーダーシップと計画の見直しにより、コロナ禍における課題の解決に向けて対応した。今後も改善を図る。</li> </ul>	○
健康・安全への実践の工夫 基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>*感染症予防の実践</li> <li>*生活ふり回り週間での家庭との連携「生活ふり回りアンケート」(年3回)</li> <li>・食育推進での自己管理能力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い・マスク着用・3密回避等、早寝早起き・朝ご飯等の習慣定着</li> <li>・保健便り(月1回)・給食便り(月1回)、もりもり給食 W. 給食残菜率減少、郷土料理、リクエスト・小松菜給食等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活ふり回り週間(6, 9, 1月)実施。</li> <li>・ブラッシング指導(歯科校医・保健士による)、歯磨き指導継続</li> <li>・保健便り・給食便り・生活指導便り(各月1回)発行。</li> <li>・給食残菜率は0.3%。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に実施した。今後も内容の見直しを図りながら定期的な実践と情報発信を継続する。</li> </ul>	○

<p>安全教育・防災教育の推進</p>	<p>＊保護者、地域、関係諸機関と連携した安全教育、防災・減災教育          ＊危険予測、危険回避能力の指導の充実          ・地域安全点検・安全マップ作成・登校指導          ・「危機管理マニュアル」「食物アレルギー対応マニュアル」等、各種マニュアルの徹底</p>	<p>・避難訓練範囲・想定の拡大（保育園・学童・放課後子ども教室と合同訓練等）          ・不審者対応訓練（年1回）          ・「セーフティ教室」（年1回）情報モラル、連れ去り防止、万引き被害防止          ・薬物乱用防止教室（6年）          ・防災安全教室（5年）          ・交通安全教室（全学年）          ・自転車免許教室（3年）</p>	<p>・避難訓練は月1回実施。（第2次避難所等を含む）。          ・不審者対応防犯訓練（全学年実施）          ・地域安全点検、安全マップ作成。          ・セーフティ教室（全学年）は、千住警察・民間会社等と連携。          ・薬物乱用防止教室6年実施。          ・自転車免許教室3年実施。</p>	<p>・対応マニュアルの見直しと改善を今後も継続する。形式にとらわれない訓練や指導の在り方、外部との連携について組織で対応する。</p>	<p>○</p>
---------------------	---	---	---	--	----------

## 6 まとめ

### ア 学力向上アクションプランについて

- ・今後も課題解決を重視した授業を展開し、「自分の考えをもつ」「伝え合い、」深める」などの言語活動の充実とともに思考力・判断力・表現力の向上を目指す。「知識・理解、技能」を養うとともに、児童に自己の目標を明確にもたせ、主体的な活動を促していく。
- ・授業では、全教科領域において、話し合い、検討し合い、高め合う学習の充実を目指す。
- ・チャレンジタイムや放課後補充教室等の個別指導では、国語・算数における基礎的な知識・技能の習熟について個々の課題分析に基づいた効果的な指導を徹底する。家庭学習にはA Iドリル等の活用をより一層充実させる。
- ・読書活動をより一層活性化させる。学校図書館運営の改善により、調べ学習、学習環境、ボランティア活動による読書に親しむ活動等意欲向上を図る。

### イ 個の尊重と豊かな人間関係の育成について

- ・挨拶については一昨年、昨年度と、年々よくなっている。相手意識を高め、すすんで気持ちのよい挨拶ができるよう今後も指導していく。
- ・規則正しい生活習慣の確立について、生活ふり返り週間や生活指導週目標の具体化等によって指導を継続している。今後も全校での目標を定めて取り組む。

### ウ 体力向上と健康・安全の推進について

- ・体力向上のための取組を継続するとともに、運動を楽しむ態度の育成を図る。
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の一層の活用を図り、相互コミュニケーションスキルの向上、SOSの出し方教育等推進していく。

### 保護者や地域へのメッセージ

今年度も、PTA活動、登校時見守り等で、保護者・地域の皆様に多方面でご協力頂き心より感謝申し上げます。

3年ぶりに各種行事を実施することができ、児童が行事を通して成長することを実感することができました。また、皆様に児童の活動の様子を参観いただけたことは、児童にとっても教職員にとっても大きな励みとなりました。

今後も、保護者・地域の皆様と協力して、「自立と貢献」「思いやりの心」の育成を重視し、一層推進してまいります。

児童の心身の健康を第一に考え、教育活動を実践します。皆様の益々のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。